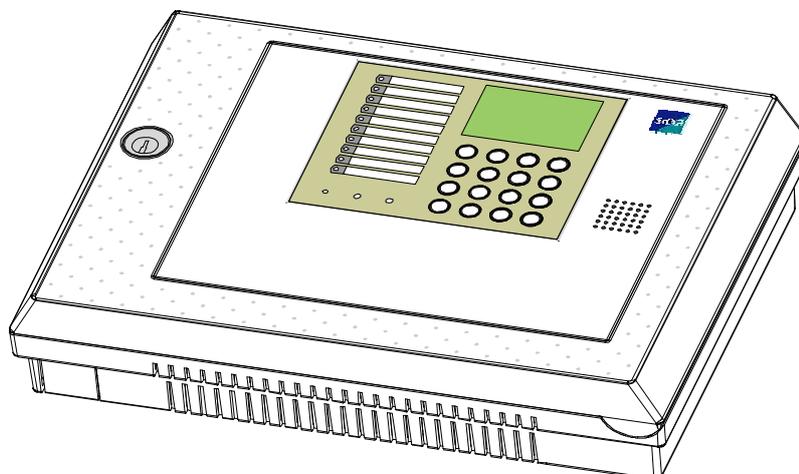


T **M** **T** **0** **8** **0** **2** **A** 送信機
S

取扱説明書



サクサ株式会社

1.1版

はじめに

本書は、本装置を設置される業者殿、または、販売店殿向けの取扱説明書です。

安全上のご注意

ご使用前にこの「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使い下さい。

その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読み下さい。

本文中のマーク説明



この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、及び物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

この装置は、日本国内用に設計されています。電圧や電話交換方式の異なる海外では使用できません。

装置の設置時は、必ず設定マニュアルに従って行ってください。

お読みになったあとは、この取扱説明書をいつでも見られる場所に、必ず保管してください。

本装置のご使用方法については、本取扱説明書に基づきお客様に十分理解いただける様にご説明してください。

本装置の設置後は、本取扱説明書の裏表紙のメモ欄に、警備会社及び販売店名連絡先など必要事項を必ずご記入ください。

必要事項のご記入が無いと、無償保証(1年間)を受けられない場合があります。



警告

装置の蓋を開けたり、分解したり、改造したりしないでください。火災・感電・故障の原因となります。内部の点検・調整・掃除・修理は販売店、または、工事店にご連絡ください。

また、改造は法律で禁止されています(分解・改造された本装置は、修理に応じられない場合があります)。

AC100Vで使用する場合、電源プラグおよび電源コードはAC125V以上の耐圧のものを使用してください。AC200Vで使用する場合、電源プラグおよび電源コードはAC250V以上の耐圧のものを使用してください。電源コードの端子台への配線は、ねじが緩んだときの短絡防止のため、絶縁スリーブ付の丸型圧着端子(M4)を使用してください。火災・感電・故障の原因となります。

電源プラグは電源コンセントに確実に差し込んでください。電源プラグに金属等が触れると火災・感電・故障の原因となります。

電源のコードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったりしないでください。また、重い物を乗せたり、加熱したりすると電源コードが破損し、火災・感電・故障の原因となります。また電源プラグのコードが傷んだときは(芯線の露出・断線等)当社担当営業に修理を依頼してください。

テーブルタップや分岐コンセント、分岐ソケットを使用した、タコ足配線はしないでください。火災・感電の原因となります。

濡れた手で電源プラグに触れないでください。感電の原因となります。

本装置に水が入ったりしないようご注意ください。また、水滴がついたときは、乾いた布で拭き取ってください。万一、水が入ったときは、装置への通電を停止し、バッテリーを外してから当社担当営業にご連絡ください。そのまま使用すると、故障・感電の原因となります。

本装置のそばに花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水の入った容器、または小さな金属類を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災、感電・故障の原因となります。

本装置をぬれた手でさわったり、水をかけないようにご注意ください。火災・感電・故障の原因となることがあります。

ボイラーや加湿器のそばなど、湿度の高いところでは使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。

雷が激しいときは、電源コード、電話回線のコードに触れないでください。感電の原因となります。

本装置の開口部から内部に金属類を差し込んだり、押し込んだりしないでください。万一、異物が入ったときは、通電を停止し、バッテリーを外してから、ご契約されている警備会社、または、販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電・熱発生によるやけどの原因となります。

傾いた台の上や、振動、衝撃の多いところに設置しないでください。落下・転倒の恐れがあり、けがの原因となります。また、万一、落下、転倒により破損したときは、通電を停止し、バッテリーを外してから、販売店、または、工事店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電・故障の原因となります。

本装置のバッテリー寿命は約2年です。これを越えた場合は仕様に示す停電動作保証時間が短くなったり、液漏れによる装置故障になる場合があります。(バッテリーの液漏れによる装置故障については保証いたしかねます。)本装置を設置してから2年以上経過した場合は、ご契約されている警備会社、または、販売店にバッテリーの交換をご依頼ください。(バッテリーは本装置専用のもを使用しています。)

なお、交換により取り外した電池は、交換作業を行った業者に引き取りをご依頼してください。

また、バッテリーは、火の中に投入したり、分解や加熱しないでください。火災・けがの原因となります。

万一、煙が出ている、変な臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電・故障の原因となります。すぐに通電を停止しバッテリーを外して煙が出なくなるのを確認して、販売店、または、工事店に修理をご依頼ください。

注意

本装置を壁掛けにすると、本装置の重みにより落下しないよう堅固に取り付け・設置してください。落下してけがの原因となることがあります。

直射日光の当たるところや、暖房設備・ボイラーなどのためにいちじるしく温度が上昇するところに置かないでください。内部の温度が上がり、火災の原因となることがあります。

調理台のそばなど油飛びや湯気が当たるような場所、ほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。

本装置の電源のコードを熱器具に近づけないでください。本装置の電源コードの被覆が溶けて、火災・感電・故障の原因となることがあります。

電源プラグをコンセントから抜くときは、必ず電源プラグ本体を持って抜いてください。コードを引っ張ると、コードが傷つき、火災・感電・故障の原因となります。

電源プラグにほこりが付着している場合は、よく拭き取ってください。そのまま使用すると、火災・感電・故障の原因となります。

本装置を移動させる場合は、必ず通電を停止してから行ってください。コードが傷つき、火災・感電・故障の原因となります。

保守点検の際は、必ず通電を停止し、バッテリーを外してから行ってください。また通電中に行う場合は、感電に気をつけて行ってください。

本装置の信頼性を維持、確保するため、および使用者の安全性を確保するため必ず接地アースを接続してください。

本装置の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部の熱が上昇し、火災の原因となることがあります。

目次

1. 概要編	1
1-1. システムの特長	1
1-2. システム構成	1
1-3. 装置種類	2
1-4. 各部の名前とはたらき	3
1-4-1. 各種表示部	3
1-4-2. 各部の説明	3
2. 機能説明編	4
2-1. 警備先について	4
2-2. 外付けカードリーダーの使用可能カード	5
2-3. 外付けカードリーダーのカードの種類	5
2-4. 操作モード	6
2-5. 接点出力からの外部機器へ制御	6
2-6. ガード時間	7
2-7. セットミス	7
2-8. 保守メニュー	8
2-8-1. 点検モード	8
2-8-2. 登録モード	8
2-8-3. 履歴	8
2-8-4. 日時	8
2-8-5. 入退室管理	8
2-8-6. 機器設定	8
2-8-7. 初期化	9
2-9. 使用できる漢字文字について	9
3. 動作編	10
3-1. 待機画面表示	10
3-2. 電源の立ち上げ	11
3-3. ノードチェック	11
3-4. 工注データ登録	11
3-5. エラー表示	11
3-5-1. 専有部が解除中時に共用部を開始したときのエラーメッセージ	11
4. 操作編	12
4-1. 顧客ユーザによる操作方法	12
4-2. 巡回員による操作方法	17
4-2-1. 巡回モードと強制警備開始 / 解除にするための操作方法	17
4-2-2. 現地到着の各操作方法	19
4-2-3. 強制警備開始の各操作方法	20
4-2-4. 強制警備解除の各操作方法	21
4-3. マスタユーザによる操作方法	22
4-4. ガイダンスなどのボリュームを変更する	22
4-5. 液晶のコントラストを変更する	23
4-6. 液晶バックライトの点灯する時間を変更する	23
4-7. ボタンを押したときの音(鳴らす / 鳴らさない)を変更する	24
5. 音声通報編	25
5-1. 通報先の昼夜切替動作	25
5-2. 不定メッセージによる通報機能	25
5-3. 自己診断機能	26
6. 保守編	27
保守メニューから各モードに移行する方法	27
6-1. 点検操作	28

6 - 1 - 1 . 点検モードの画面の推移.....	28
6 - 1 - 2 . 回線チェック.....	30
6 - 1 - 3 . 機器チェック.....	31
6 - 1 - 4 . 入力チェック.....	31
6 - 1 - 5 . メール送信試験.....	32
6 - 1 - 6 . センサチェック.....	32
6 - 1 - 7 . 出力制御.....	33
6 - 1 - 8 . センサ閉塞.....	34
6 - 2 . 登録操作.....	35
6 - 3 . 履歴操作.....	35
6 - 4 . 日時設定操作.....	35
6 - 5 . 入退室管理操作.....	36
6 - 6 . 機器設定操作.....	37
6 - 7 . 初期化操作.....	38
6 - 8 . IP / MACアドレス.....	38
7 . 制約事項.....	39

1. 概要編

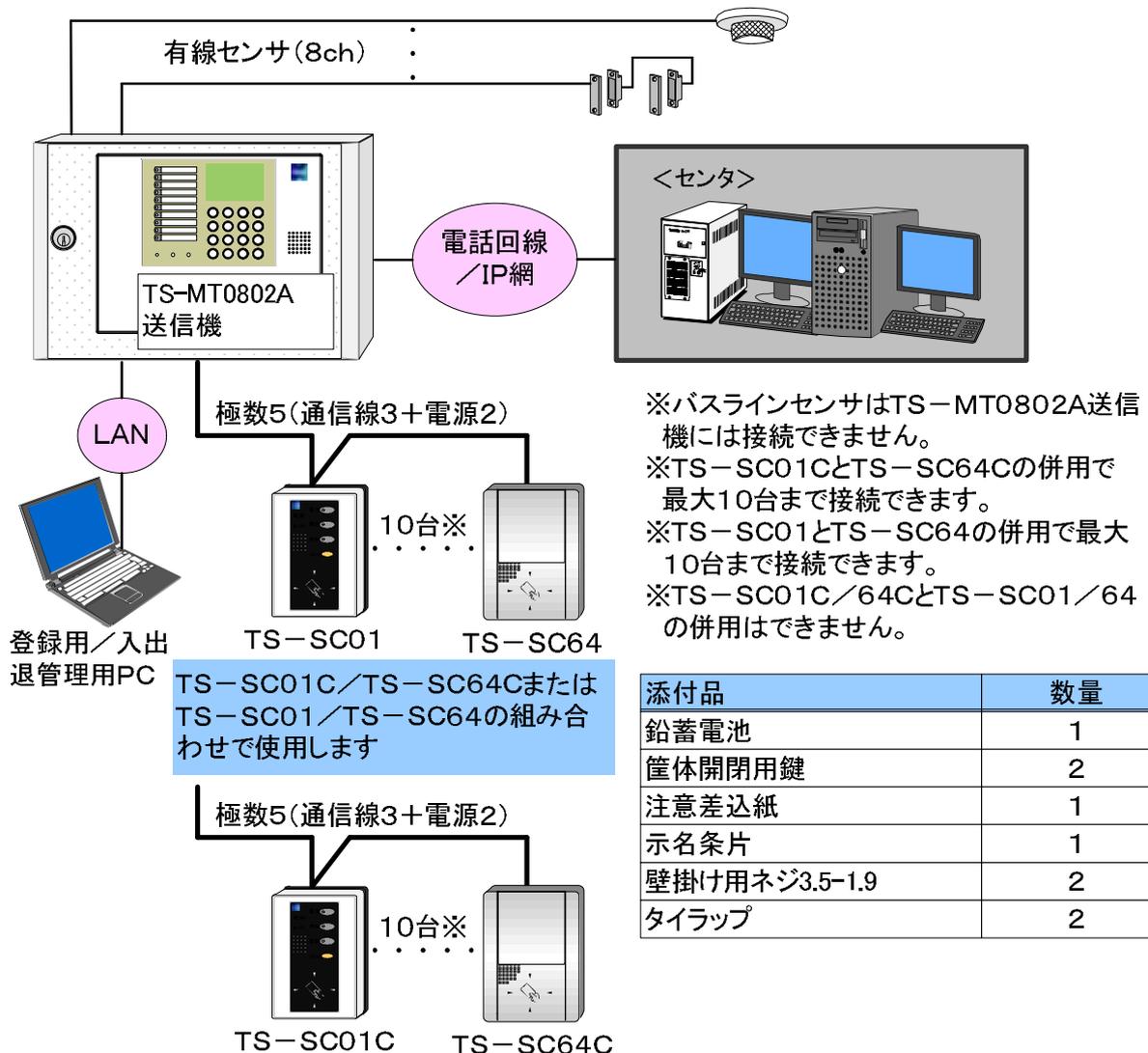
本装置は、小規模テナントビルなどに設置され、接続された各種センサから異常情報を受信し、各回線 / IP 網を通じてセンタシステムへ通報を行います。

送信機は、4専有部 + 1共用部の警備先の監視を行い、各種制御やリモート登録を行う機能を持っています。

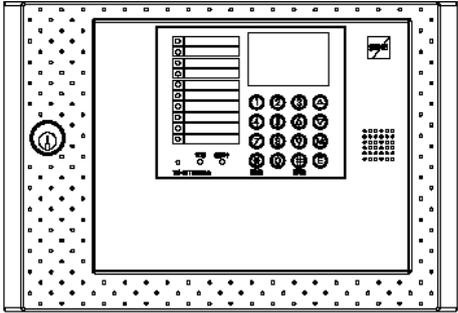
1 - 1 . システムの特長

- ・IPによるランニングコストを抑えたセンタ通報が可能です。
- ・4テナント、1共用部の5エリア監視が可能です。
- ・スケジュール機能を持ち、照明制御や電気錠制御に使用可能です。また、警備との連動制御も可能です。
- ・外付けアクセスコントローラが最大10台まで接続でき、解錠操作による入退室管理が可能です。
- ・登録データのセンタダウンロードや制御、プログラムダウンロードができメンテナンスコストの削減が可能です。
また、NexBeシステムを使用した場合の予約ダウンロードが可能になります。
- ・LCD・テンキーを内蔵しており、簡易登録や履歴データの確認がオフライン状態でも可能です。また、暗証番号での警備開始 / 解除の切り替えも可能です。
- ・カードリーダーモジュールを実装することによりFeliCa、TypeAカードによる警備開始 / 解除ができます(オプション)。
- ・不定メッセージによる音声通報が可能です。メッセージは本装置で録音ができます。

1 - 2 . システム構成

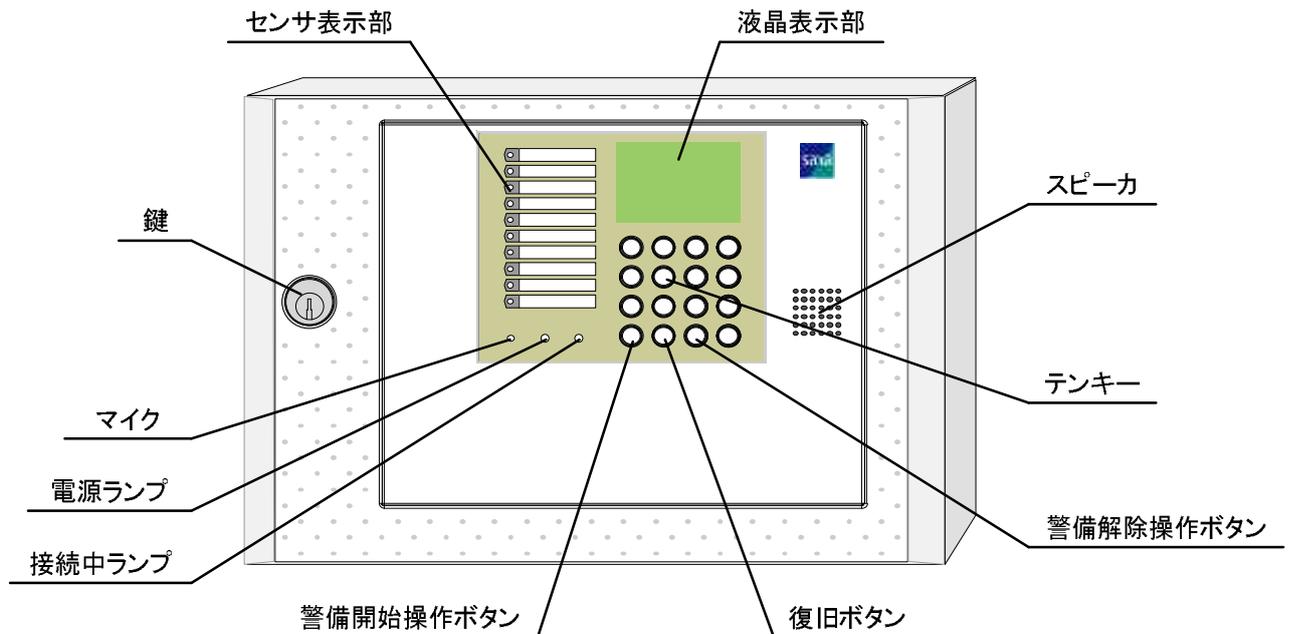


1 - 3 . 装置種類

装置名	特徴(主な機能)	外観
TS - MT0802A送信機	<p>TS - MT0802送信機の不定音声通報送信機です。</p> <ul style="list-style-type: none">・AC200/100Vの兼用機です。・バスラインセンサは接続できません。・INSネット64回線には接続できません。・外部電源出力はMax. 300mAです。	

1 - 4 . 各部の名前とはたらき

1 - 4 - 1 . 各種表示部



1 - 4 - 2 . 各部の説明

名称	機能
センサ表示部 (上位8ch)	センサの状況を表示します。 ▶ 赤点灯: センサON表示 ▶ 橙点灯: センサ閉塞中 ▶ 赤点滅: センサ発報履歴表示(センサ検知後) ▶ 消灯: センサOFF表示、または未登録状態
センサ表示部 (下位2ch)	▶ 緑点灯: 出力ON表示 ▶ 消灯: 出力OFF表示
液晶表示部	本装置の動作状態や、操作ガイダンス等を表示します。
スピーカ	各種操作のガイダンス音声等を送出します。
テンキー	本体への登録や保守操作時に使用します。
警備解除操作ボタン	本体操作による警備解除操作するときに使用します。
警備開始操作ボタン	本体操作による警備開始操作するときに使用します。
復旧ボタン (0キーと兼用)	センサ復旧後にランプを消灯させるときに使用します。

接続ランプ	回線の接続状況を表示します。 ▶ 消灯:待機中 ▶ 緑点灯:回線接続中(モデム/音声/UUI/PB) ▶ 緑点滅:発報閉塞中 ▶ 赤点滅:回線断線中 ▶ 橙点灯:Dchパケット接続中 ▶ 橙点滅:パケット断線中
電源ランプ	電源の状態を表示します。 ▶ 緑点灯:通電中 ▶ 赤点滅:停電中 ▶ 緑/赤交互点滅:データ登録中 ▶ 緑点滅:電池電圧低下発生 ▶ 橙点滅:センサ全閉塞中
マイク	音声通報のためのメッセージ録音に使用します。
鍵	筐体を開けるための鍵穴です。

2. 機能説明編

2 - 1 . 警備先について

管理可能な警備先は最大5箇所(専有部4箇所 + 共用部1箇所)です。

- 1) 専有部: 各部屋であり、別警備先との共用はできません。
- 2) 共用部: 複数警備先の共用部であり、該当警備先が全て警備開始となることにより、自動的に警備開始となります。該当警備先の何れかが警備解除となることにより、自動的に警備解除されます。全ての専有部が警備開始状態のとき、共用部開閉カード・暗証操作で警備解除または開始操作が可能です。専有部が警備解除中に共用部を開始しようとすると「専有部解除中のため、共用部を開始できません」の表示を行います。



2 - 2 . 外付けカードリーダーの使用可能カード

フェリカサクサ標準カード

弊社にてご購入いただけるフェリカカードです。カードに権限レベルを設定することができ、アクセスコントローラの対応レベルにより操作可能なカードを識別できます。

一般フェリカカード

交通系 / 電子マネー系カード、および携帯電話などの一般的なフェリカカードです。

TypeA カード

TN2カードの社員証等のカードです。

ハイタグカード

TS - MT0802A送信機は、カードリーダーを内蔵しておりません。

外付けカードリーダーを使用してください。

2 - 3 . 外付けカードリーダーのカードの種類

ユーザカード(顧客、清掃会社等が持つ開始解除用カード)

発行枚数	1送信機あたり最大200枚
可能な動作	テナントの開始 / 解除



巡回カード(警備会社の巡回員が持つカード)

発行枚数	1送信機あたり最大30枚 但し、マスタカードと合わせて30枚
可能な動作	現着操作と強制モードを選択可能



マスタカード(ビルオーナーが持つカード)

発行枚数	1送信機あたり最大30枚 但し、巡回カードと合わせて30枚
可能な動作	テナントの開始・解除



保守カード(警備会社の技術員、工事が社が持つカード)

発行枚数	1送信機あたり最大10枚
可能な動作	試験や通報履歴の確認時、強制モード

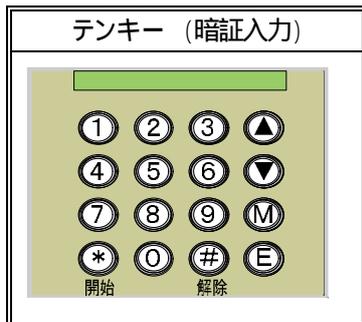


TS - MT0802A送信機は、カードリーダーを内蔵しておりません。

外付けカードリーダーを使用してください。

2 - 4 . 操作モード

テンキーの暗証入力による操作ができます



2 - 5 . 接点出力からの外部機器へ制御

接点出力を以下の種類から選択できます。接点出力は電源オフしても出力状態を保持します。

警報発生～警備解除間……………	警報発生から該当警備先解除までオンします。
警報発生～復旧間……………	警報発生からセンサ復旧までオンします。
警報発生後連続……………	警報発生から連続で出力します。
警報時パルス出力……………	警報発生時、設定時間パルス出力します。 又、パルス出力中に警備解除にて出力オフする事も可能です。
警備解除～開始間……………	警備解除から開始までオンします。
警備解除時パルス出力……………	警備解除時にパルス出力 します。
警備開始 - 解除間……………	警備開始から解除までオンします。
警備開始時パルス出力……………	警備開始時にパルス出力 します。
警備開始・解除時パルス出力……………	警備開始時、解除時にパルス出力 します。

設定可能なパルス出力時間は、1～60秒(1秒間隔)、1～60分(1分間隔)

2 - 6 . ガード時間

開始ガード時間

警備先が警備開始された直後、対応センサの動作検出を遅延させるための時間です。

ガード時間は、警備先毎に1秒から5分まで(1秒毎)設定可能です。

警備開始操作されたアクセスコントローラは、1秒間隔にてピッ音を送出します。

開始ガード時間が残り10秒過ぎると、ガード音が速くなり(下図参照)、開始ガード時間終了と同時に音が止まります。

解除ガード時間

警備先が警備開始中に対応センサの動作検出をした場合、発報を保留するための時間です。

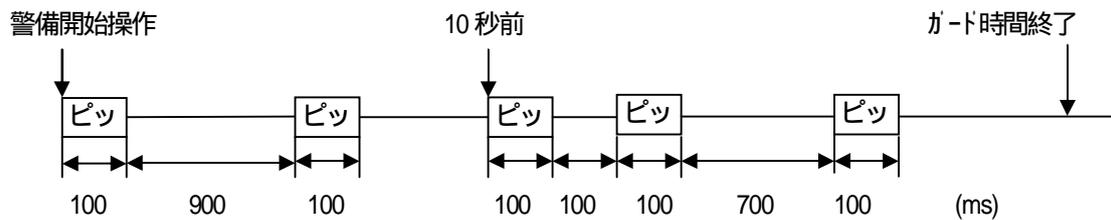
ガード時間は、警備先毎に1秒から5分まで(1秒毎)設定可能です。

対応センサが動作検出した場合、500ms間隔にてピッ音を送出します。

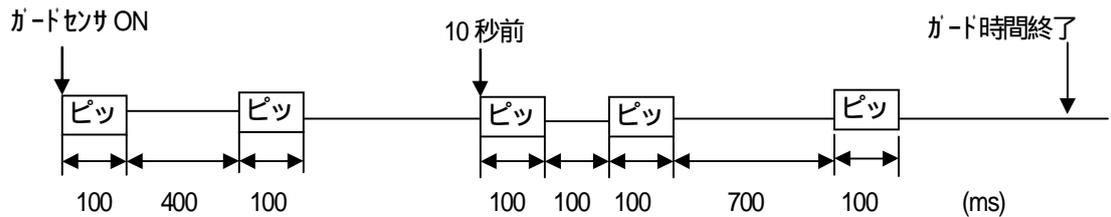
解除ガード時間が残り10秒過ぎると、ガード音が速くなり、解除ガード時間終了と同時に音が止まります。

遅延時間中に警備解除された場合は、センサ動作検出は破棄されます。また、警備解除されなかった場合は侵入信号を発報します。

開始ガード音



解除ガード音



2 - 7 . セットミス

開始操作時にSCセンサがONの場合、その旨LCDに表示します。

開始ボタンを2秒長押しにてセットミスとなり、その旨発報します。

2 - 8 . 保守メニュー

2 - 8 - 1 . 点検モード

1 . 状態表示

- ・回線チェック …… 回線の状態を表示します。
- ・機器チェック …… 接続機器の通信状態、バージョン情報、終端抵抗の有無を表示します。
- ・入力状態チェック …… 各警備先のセンサ情報を表示します。
- ・メール送信試験 …… メールを送信試験を行います。

2 . 試験

- ・センサチェック …… バスラインセンサの状態をチェックします(リアルタイム表示)。
バスラインセンサは、本装置起動約1分後から監視を行います。
センサが起動できていない場合は、センサを認識しないため未接続になります。
- ・カードチェック …… 読み取ったカードの種別や開閉エリアなどの設定内容を表示します。

3 . 設定制御

- ・出力制御 …… 出力を制御します。
- ・バスセンサ …… バスセンサのカウント、感度を設定します。
カウント、感度調整対応のセンサは、竹中エンジニアリング製 BUS-66xx、BUS-68xx シリーズのみ設定可能です。
バスラインセンサは、本装置起動約1分後から監視を行います。
センサが起動できていない場合は、設定は無効になります。
- ・センサ閉塞 …… センサを閉塞します。

2 - 8 - 2 . 登録モード

テンキーにより設定を行います。

2 - 8 - 3 . 履歴

通報履歴を表示します(100件)。

2 - 8 - 4 . 日時

送信機の時計データを設定・参照します。(年月日時分)

2 - 8 - 5 . 入退室管理

入退室の情報を送るパソコンへFTP転送試験を行います。
設定時刻に自動転送します。また、1000データ蓄積した時点でも送信を行います。

2 - 8 - 6 . 機器設定

- ・発報閉塞 …… 通報要因が発生しても通報しません。
- ・停電検知時間 …… 停電状態が一定時間続いたときに停電とみなします。
300ms、1分(出荷時)検知の設定が可能です。
- ・PB送出レベル …… PBの送出レベルを設定します。
出力レベル - 15dBm(出荷時)、-9dBmの選択ができます。
回線事情の悪い場合にレベルを上げます。
- ・表示方法切替 …… センサ表示部の表示方法を選択します。
発報履歴表示 : センサ通報の発生状態を表示します。
センサ同期表示 : 検知中のセンサを表示します。
- ・発報間引き設定 …… 同一センサ連続発生時のセンサへの通報の間引きの有無を選択します。
なし : 同一センサが連続発生しても通報の間引きを行いません。
あり : 同一センサが連続発生した場合には通報中の情報と同一情報の間引きを行います。

2 - 8 - 7 . 初期化

・送信機の設定内容を出荷時に戻します。(発報履歴などのデータも消去します。)

2 - 9 . 使用できる漢字文字について

漢字辞書はJIS第一水準までサポートしています。

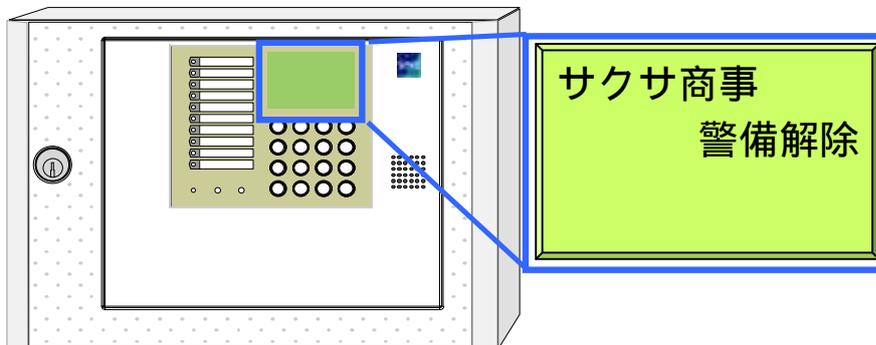
・特殊文字などで登録すると文字化けが発生しますのでご注意願います。

3. 動作編

3-1. 待機画面表示

待機時の画面表示のことを言います。表示方法としてはテキストによる表示となります。

待機画面の左上の名称は、センタからのリモート登録 またはローカル登録PCにより設定します。
 本体のテンキーによる登録をした場合は、名称表示(以下画面ではサクサ商事)ではなく警備先ID8桁表示となります。
 最大全角8桁までの表示が可能です。



通常時の待機画面

状態	画面
警備解除中	サクサ商事 警備解除
警備中	サクサ商事 警備開始
発報閉塞中	サクサ商事 警備開始 発報閉塞中
周辺機器 書込中	サクサ商事 警備開始 周辺機器 書込中
キー又は キー押下 でバスライン センサ表示を 行います。 10秒後初期 表示に戻り ます。	

異常状態と表示画面(優先順)

異常状態	画面
電池 ニアエンド	サクサ商事 警備開始 電池ニアエンド
停電発生	サクサ商事 警備開始 停電発生
外部遮断 発生	サクサ商事 警備開始 外部遮断発生
IP断線中	サクサ商事 警備開始 IP断線中
回線 断線中	サクサ商事 警備開始 回線断線中

異常状態	画面
パケット 断線中	サクサ商事 警備開始 パケット断線中
リモート 登録中	サクサ商事 警備開始 リモート登録中
周辺機器 書込中	サクサ商事 警備開始 周辺機器 書込中

(注1) 名称などの登録で半角文字を使用すると、文字数の制約により文字の末尾が正しく表示されない場合があります。

3 - 2 . 電源の立ち上げ

- ・電源立ち上げ直後は下記の画面表示になります。
- ・電源立ち上げ後設定内容をチェックし、周辺機器への書込が完了していない場合、自動的にデータを書き込みます。
- ・設定内容が正常で送信機との通信が成功した場合、待機画面を表示します。

システム起動中
しばらく
お待ち下さい
<<< Ver*.** >>>

起動時メモリチェックを行いますので立ち上がりまでに約20秒かかります。

アクセスコントローラを接続している場合、機器異常になります。本装置起動にて正常通信ができますと動作可能になります。

3 - 3 . ノードチェック

- 送信機から10分毎に周辺機器(アクセスコントローラなど)との定時チェックを行います。
- 2回連続して応答を受信できない場合は、ノードエラーとしてセンタ通報(設定によります)を行います。

3 - 4 . 工注データ登録

周辺機器への書き込み中は下記画面の表示になります。

サクサ商事
警備開始

周辺機器 書込中

電源LEDが緑点滅します。

3 - 5 . エラー表示

3 - 5 - 1 . 専有部が解除中時に共用部を開始したときのエラーメッセージ

専有部が解除中の時は、共用部は開始できません。

本体のテンキーによる強制操作にて専有部が一部解除中なのに、共用部だけを開始操作した場合に表示します。

エラー
専有部解除中
のため、共用部を
選択できません

- ・音: “ピピピ”
- ・通報: 通報しません

4. 操作編

4 - 1 . 顧客ユーザによる操作方法

～用語説明～

SCセンサとは？

警備開始～解除間だけ通報するセンサです。

警備解除中はセンサ(マグネットセンサなど)が検知しても通報しません。

主に侵入系のセンサに使用します。

SCセンサはセットミスの対象センサとなります。

24センサとは？

警備状態に関わらず、常時監視状態のセンサです。

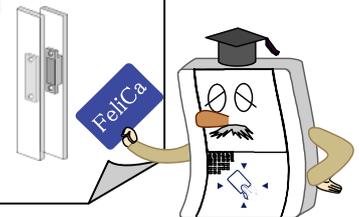
設備系のセンサ(火災、ガス漏れ、非常など)など、警備状態に関係なく常時監視する場合に使用します。

セットミスとは？

SCセンサがONのまま警備開始操作を行うことです。

例) 窓の閉め忘れによりマグネットセンサがON状態になっているにもかかわらず
警備開始した場合

マグネットセンサが異常



1. 警備開始の操作方法

1) SC、24センサが正常の場合

開始する警備先のSCセンサが全て正常の場合、戸締まりの不備など異常箇所が無いと認識するので開始操作が行えます。

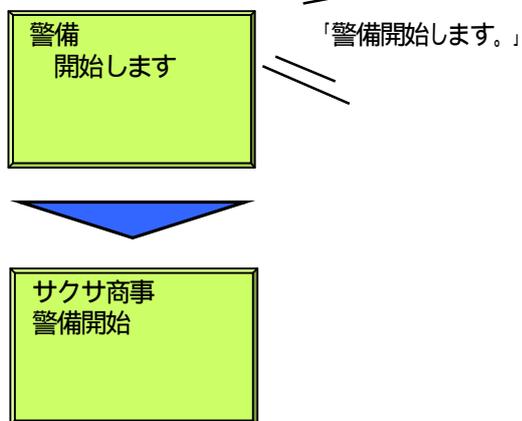
開始ボタンを押下します。



暗証番号(最大8桁)を押下し、最後に E ボタンを押下します。



解除中の警備先を開始します。



2) SCセンサが発報状態の場合

開始する警備先のSCセンサが異常の場合、戸締まりの不備などの異常箇所ありと認識するのでセットミス確認の画面を表示します。

開始ボタンを押下します。



戸締確認	3件
1F南ドア	1
1F北ドア	2
受付	3

「戸締まりを確認して下さい。」

セットミス箇所の表示は、最大3箇所までです。

開始ボタン2秒間長押しします。

開始ボタンを2秒間長押しすると、該当する警備先をセットミス状態とします。

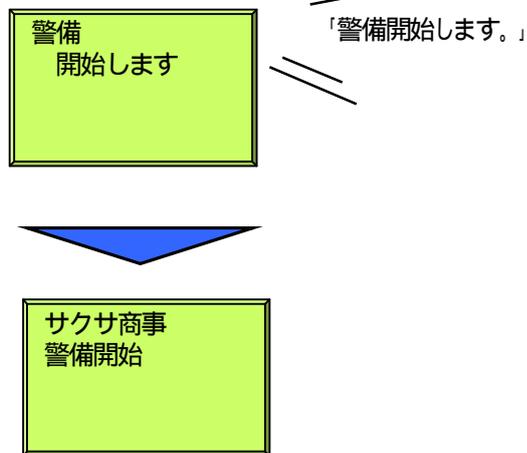


2秒間長押し

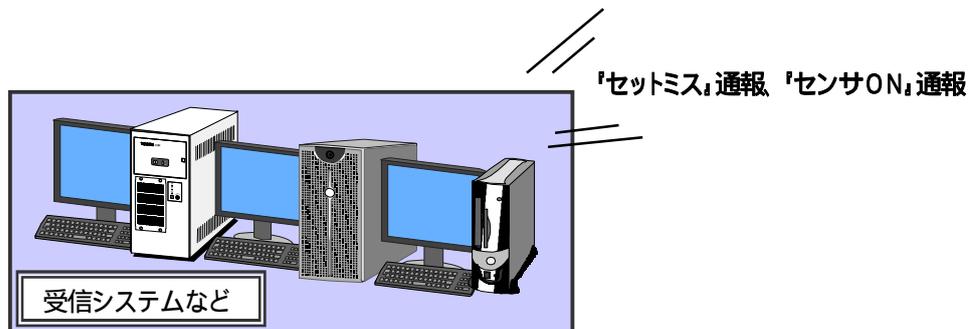
暗証番号(最大8桁)を押下し、最後に E ボタンを押下します。



解除中の警備先を開始します。

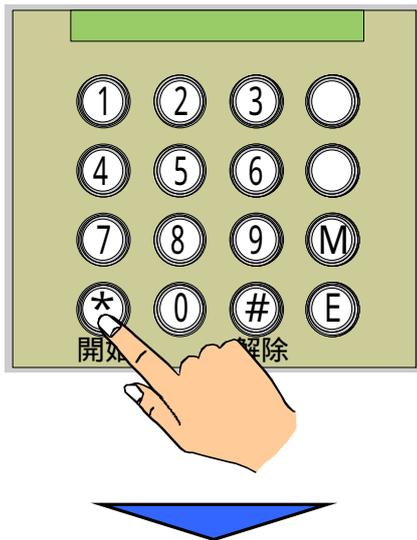


管制センタでは...『セットミス』通報と『センサON』通報が上がってきます。

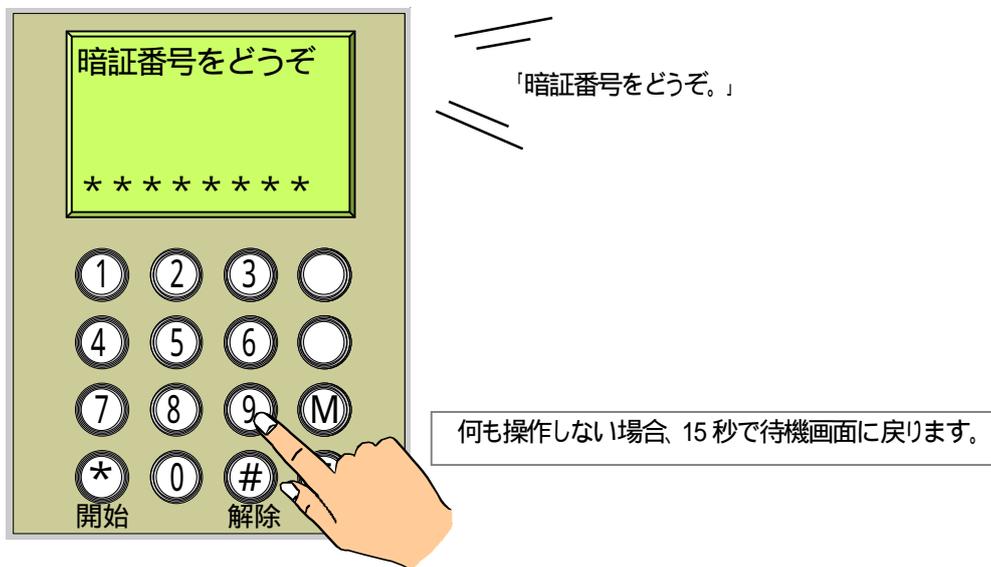


2. 警備解除の操作方法

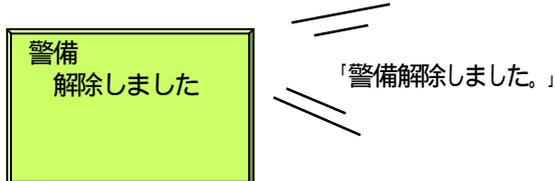
解除ボタンを押下します。



暗証番号(最大8桁)を押下し、最後に E ボタンを押下します。



警備中の警備先を解除します。

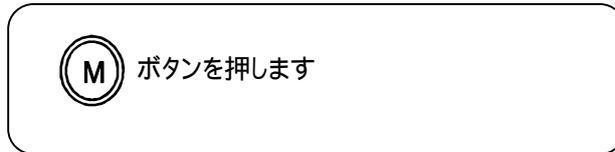
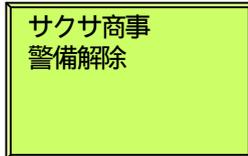


4 - 2 . 巡回員による操作方法

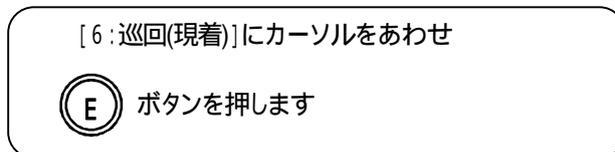
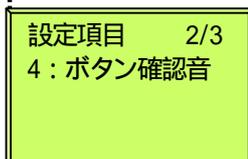
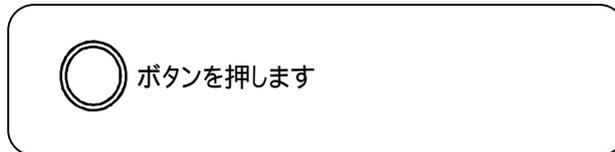
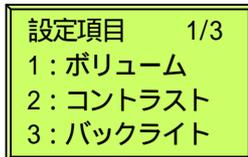
4 - 2 - 1 . 巡回モードと強制警備開始 / 解除にするための操作方法

1 . 現地到着モードにする方法

M ボタンを押します。



ボタンを押し[6:巡回(現着)]にカーソルをあわせませす。



2. 強制警備開始/解除モードにする方法

M ボタンを押します。

サクサ商事
警備解除



M ボタンを押します

ボタンを押し[5:強制操作]にカーソルをあわせませす。

設定項目 1/3
1: ボリューム
2: コントラスト
3: バックライト



ボタンを押します

設定項目 2/3
4: ボタン確認音

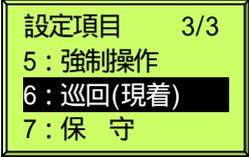
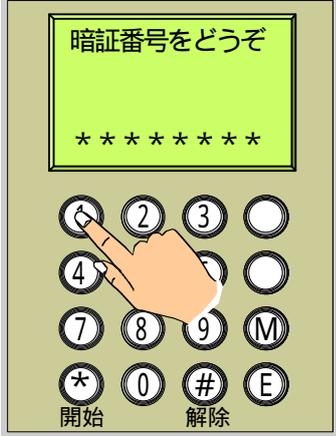
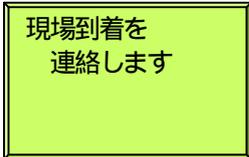
設定項目 3/3
5: 強制操作
6: 巡回(現着)
7: 保 守

[5:強制操作]にカーソルをあわせ

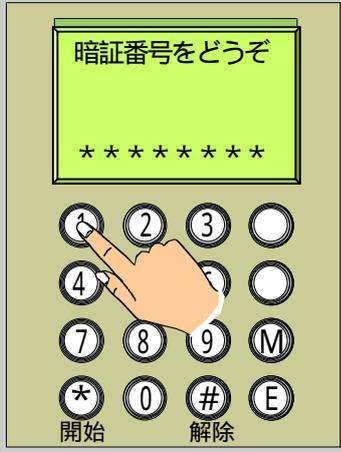


E ボタンを押します

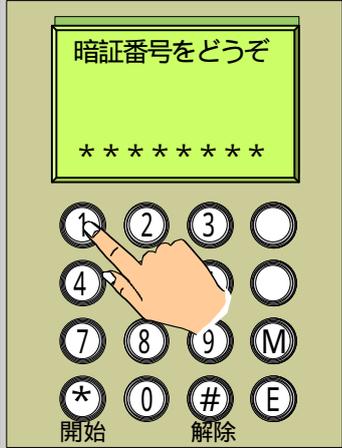
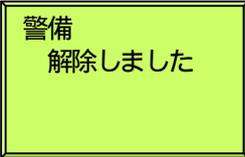
4 - 2 - 2 . 現地到着の各操作方法

操作方法	暗証
<p>[6:巡回(現着)]に カーソルをあわせ M ボタンを押します</p>	 <p>設定項目 3/3 5:強制操作 6:巡回(現着) 7:保守</p>
<p>暗証番号を入力 します 最後に E ボタンを押 下します</p> <p>ガイダンス 「暗証番号をどうぞ。」</p>	 <p>暗証番号をどうぞ *****</p> <p>1 2 3 4 5 6 7 8 9 M * 0 # E 開始 解除</p>
<p>現場到着をセンタ側 へ通報します。</p>	 <p>現場到着を 連絡します</p>

4 - 2 - 3 . 強制警備開始の各操作方法

操作方法	暗証
<p>[5:強制操作]にカーソルをあわせ M ボタンを押します</p>	 <p>設定項目 3/3 5:強制操作 6:巡回(現着) 7:保守</p>
<p>暗証番号を入力 します 最後に E ボタンを押 下します</p> <p>ガイダンス 「暗証番号をどうぞ。」</p>	 <p>暗証番号をどうぞ *****</p> <p>1 2 3 4 5 6 7 8 9 M * 0 # E 開始 解除</p>
<p>警備先を選択して 開始ボタンを押します</p> <p>強制警備開始したい 警備先にカーソルを あわせて 1 ボタンを 押します。 印で警 備先を選択して、開始 ボタンを押します。</p>	 <p>強制操作 : 開 エリア : 1 2 3 4 5 対応: 選択:</p> <p>1 2 3 4 5 6 7 8 9 M * 0 # E 開始 解除</p> <p>[画面の見方]</p>  <p>:警備解除中 :警備中 - :警備先未登録 (この画面では警備先3~5が警備中)</p> <p>印で警備先を選択 (この画面では警備先1、2を選択)</p> <p>警備開始中の強制開始操作では、センタ(設定による)通報は 行いません。</p>
<p>強制警備開始をセンタ 側へ通報します。</p>	 <p>警備 開始します</p>

4 - 2 - 4 . 強制警備解除の各操作方法

操作方法	暗証
<p>[5:強制操作]にカーソルをあわせ M ボタンを押します</p>	
<p>暗証番号を入力 します 最後に E ボタンを押 下します</p> <p>ガイダンス 「暗証番号をどうぞ。」</p>	
<p>警備先を選択して 解除ボタンを押します</p> <p>強制警備解除したい 警備先にカーソルを あわせて 1 ボタンを 押します。 印で警 備先を選択して、解除 ボタンを押します。</p>	<div style="display: flex; align-items: flex-start;">  <div style="margin-left: 20px;"> <p>[画面の見方]</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>強制操作 : 開 エリア : 1 2 3 4 5 対応 : 選択 :</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>:警備解除中 :警備中 - :警備先未登録 (この画面では警備先3~5が警備中)</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>印で警備先を選択 (この画面では警備先3~5を選択)</p> </div> <p>警備解除中の強制解除操作では、センタ(設定による)通報は 行いません。</p> </div> </div>
<p>強制警備解除をセンタ 側へ通報します。</p>	

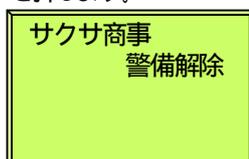
4 - 3 . マスタユーザによる操作方法

通常の警備開始 / 解除操作方は『4 - 1項(顧客ユーザによる操作方法)』を参照願います。

強制操作による強制警備開始 / 解除操作方は『4 - 2 - 3、4項(強制警備開始解除)の各操作方法』を参照願います。

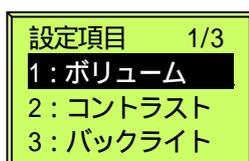
4 - 4 . ガイダンスなどのボリュームを変更する

M ボタンを押します。



(M) ボタンを押します

ボタンを押し[1:ボリューム]にカーソルをあわせます。



(E) ボタンを押します

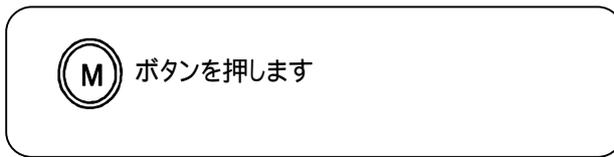
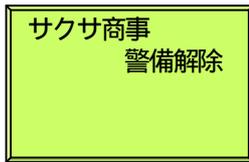


:ボリュームを上げます
:ボリュームを下げます

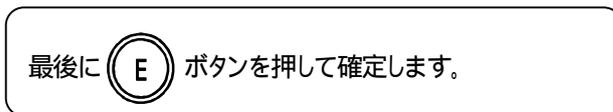
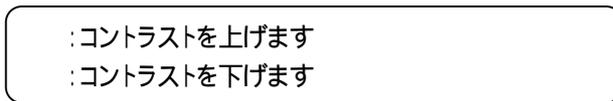
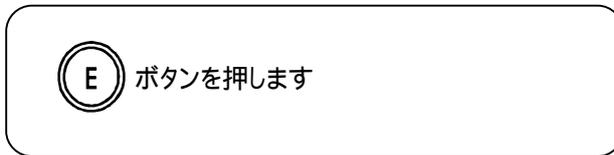
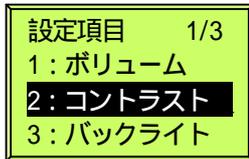
最後に **(E)** ボタンを押して確定します。

4 - 5 . 液晶のコントラストを変更する

M ボタンを押します。

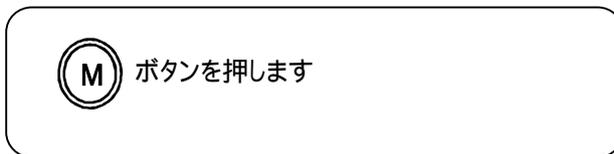
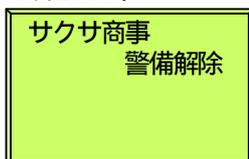


ボタンを押し[2:コントラスト]にカーソルをあわせます。

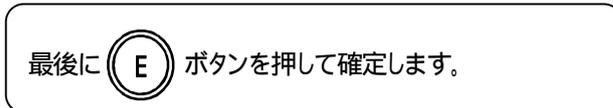
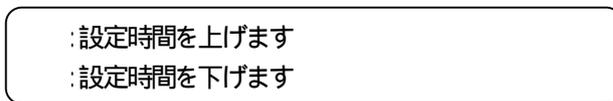
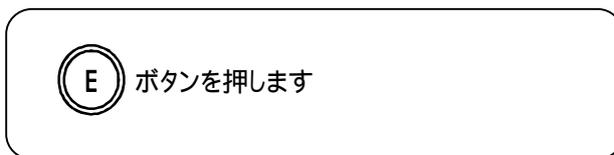
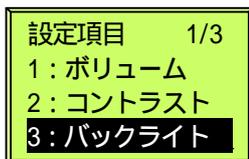


4 - 6 . 液晶バックライトの点灯する時間を変更する

M ボタンを押します。



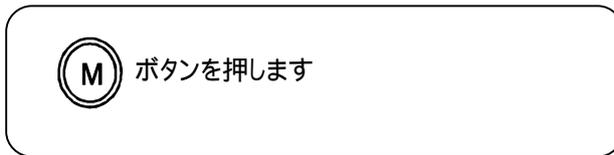
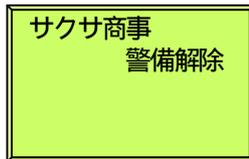
ボタンを押し[3:バックライト]にカーソルをあわせます。



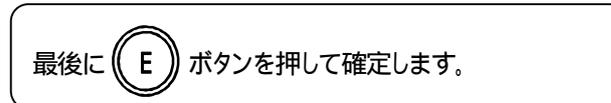
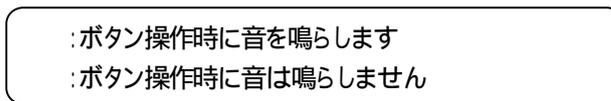
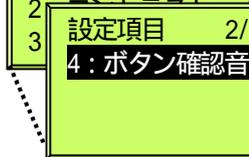
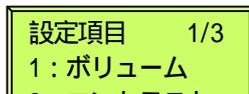
表示	内容
OFF	バックライトを使用しない
10sec	操作後10秒間点灯する
30sec	操作後30秒間点灯する
60sec	操作後60秒間点灯する
90sec	操作後90秒間点灯する
120sec	操作後120秒間点灯する
180sec	操作後180秒間点灯する
ON	常に点灯する

4 - 7 . ボタンを押したときの音 (鳴らす / 鳴らさない) を変更する

M ボタンを押します。



ボタンを押し[4:ボタン確認音]にカーソルをあわせます。



5. 音声通報編

本装置の音声通報設定が“あり”の状態の場合、音声通報装置としての各種機能が使用可能となります。

5 - 1 . 通報先の昼夜切替動作

センサ入力8chの発生/復旧状態により昼用(通報ルートA)の通報先、夜用(通報ルートB)の通報先を切り替えます。

センサ入力8ch復旧 : 昼用の通報先に通報

センサ入力8ch発生 : 夜用の通報先に通報

5 - 2 . 不定メッセージによる通報機能

センサ入力8ch、及び本装置の識別用の不定メッセージが登録されている場合には不定メッセージによる音声通報を行いません。

センサの復旧あり/なしの設定で動作が異なります。

< 復旧通報を行なう設定の場合 >

装置識別用不定フレーズ、センサ不定フレーズともに登録済み

センサ発生時:「装置識別用不定フレーズ + センサ不定フレーズ + 発生しました。」

センサ復旧時:「装置識別用不定フレーズ + センサ不定フレーズ + 復旧しました。」

センサ不定フレーズのみ登録済み

センサ発生時:「こちらは*****番です + 装置001 + センサ不定フレーズ
+ 発生しました。」

センサ復旧時:「こちらは*****番です + 装置001 + センサ不定フレーズ
+ 復旧しました。」

(*****:装置のIDです)

装置識別用不定フレーズのみ登録済み

センサ発生時:「装置識別用不定フレーズ + 装置001 + チャンネル** + 発生しました。」

センサ復旧時:「装置識別用不定フレーズ + 装置001 + チャンネル** + 復旧しました。」

(** : センサch番号)

不定フレーズ登録なし

センサ発生時:「こちらは*****番です + 装置001 + チャンネル**
+ 発生しました。」

センサ復旧時:「こちらは*****番です + 装置001 + チャンネル**
+ 復旧しました。」

< 復旧通報を行わない設定の場合 >

装置識別用不定フレーズ、センサ不定フレーズともに登録済み

センサ発生時:「装置識別用不定フレーズ + センサ不定フレーズ」

センサ不定フレーズのみ登録済み

センサ発生時:「センサ不定フレーズ」

装置識別用不定フレーズのみ登録済み

センサ発生時:「装置識別用不定フレーズ + 装置001 + チャンネル** + 発生しました。」

(** : センサch番号)

不定フレーズ登録なし

センサ発生時:「こちらは*****番です + 装置001 + チャンネル**
+ 発生しました。」

5 - 3 . 自己診断機能

外部からの着信に応答した場合、本装置の状態を音声で通知します。

(自己診断機能が有効になっている必要があります。)

< 装置の異常、センサが発生していない場合 >

装置識別用不定フレーズ登録済み

「装置識別用不定フレーズ + 装置復旧 + チャンネル復旧」

装置識別用不定フレーズ未登録

「こちらは*****番です + 装置復旧 + チャンネル復旧」

(*****:装置のIDです)

< 装置に異常がある場合 >

装置識別用不定フレーズ登録済み

「装置識別用不定フレーズ + 装置異常 + チャンネル復旧」

装置識別用不定フレーズ未登録

「こちらは*****番です + 装置異常 + チャンネル復旧」

< センサが発生している場合 >

装置識別用不定フレーズ、センサ用不定フレーズ登録済み

「装置識別用不定フレーズ + 装置復旧 + センサ用不定フレーズ」

(センサ用不定フレーズは発生しているセンサ分読み上げます)

装置識別用不定フレーズのみ未登録

「こちらは*****番です + 装置異常 + センサ用不定フレーズ」

不定フレーズ登録なし

「こちらは*****番です + 装置異常 + チャンネル*」

(チャンネル*: *には発生しているセンサのCh番号が入ります)

6. 保守編

保守メニューから各モードに移行する方法

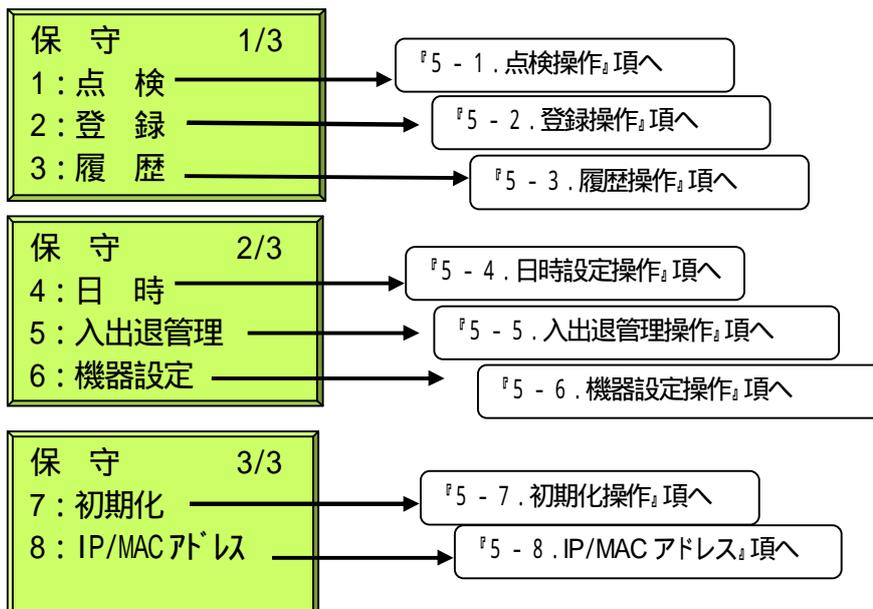
M ボタンを押します。



ボタンを押し[7:保守]にカーソルをあわせませす。

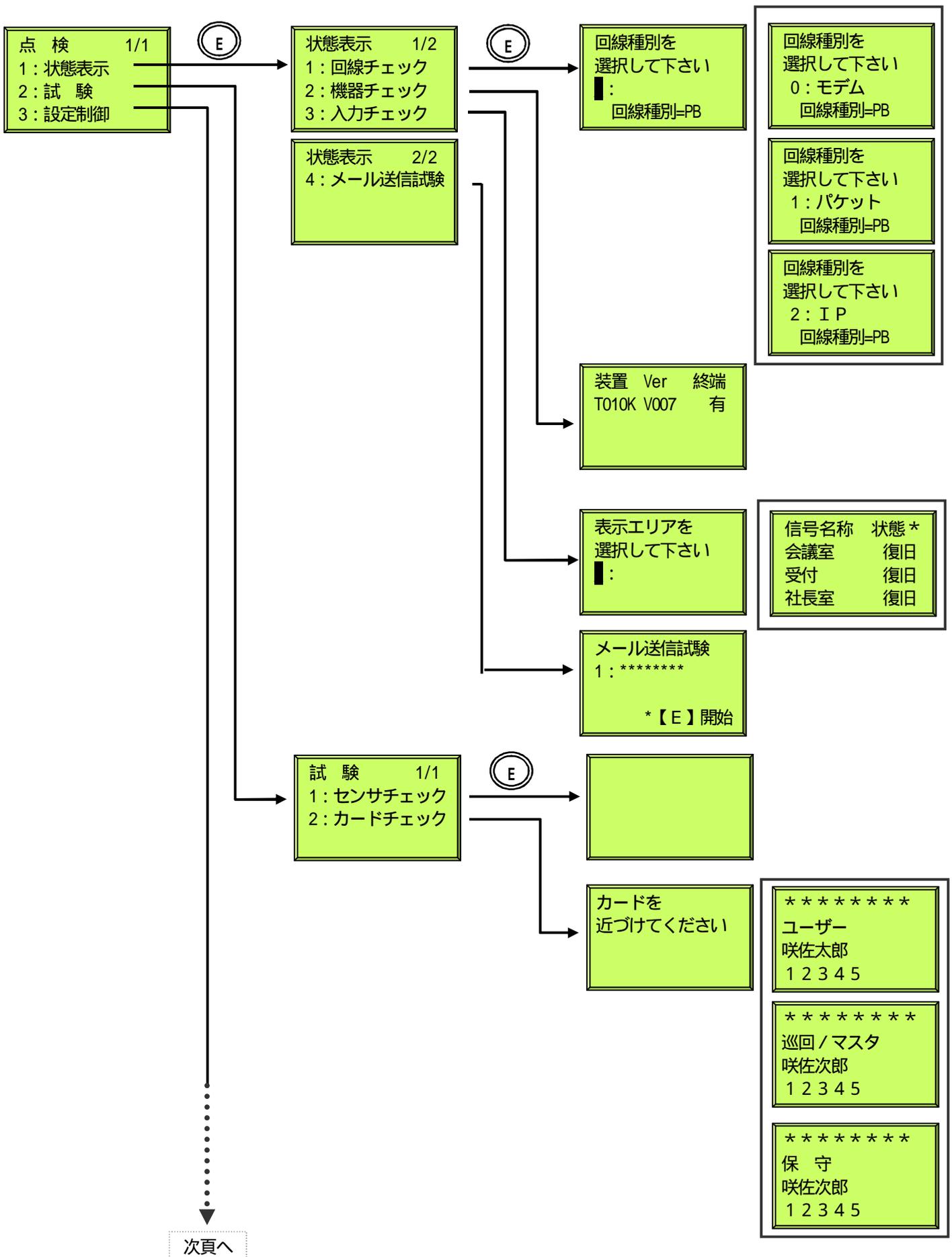


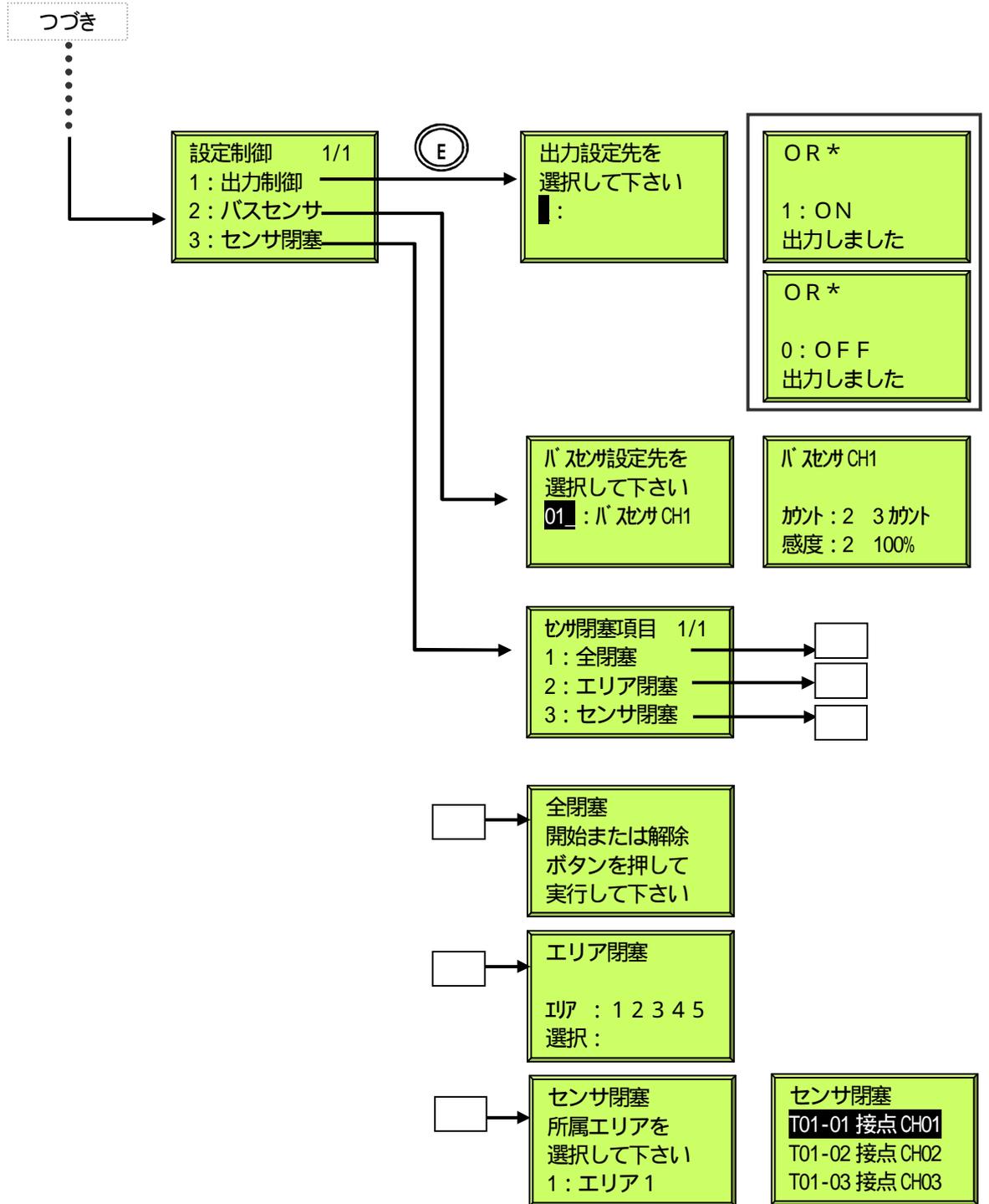
保守カード、又はテンキーでの認証を行ないます



6 - 1 . 点検操作

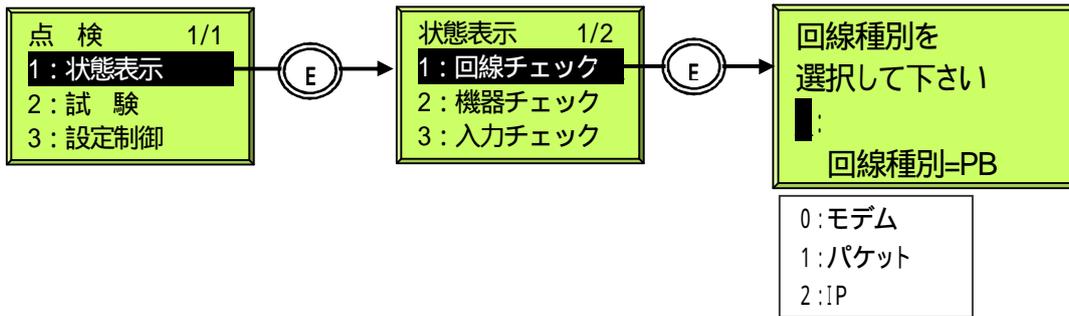
6 - 1 - 1 . 点検モードの画面の推移





6-1-2. 回線チェック

点検モードで回線チェック画面に入ります。0『モデム』、1『パケット』、2『IP』から選択します。



モデム試験結果一覧

メッセージ	内容
回線使用中	電話機使用中など
断線中	送信機接続回線が断線している
呼出中	相手を呼び出している
相手使用中	相手回線が使用中
相手不応答	相手機器異常または相手回線異常
接続中	正常に接続
通信中	通信中
通信完了	通信正常終了
通信異常	通信異常
未登録	登録異常および未登録

パケット試験結果一覧

メッセージ	内容
P - 通信完了	正常
P - 通信異常	通信異常(データパケット送信が遅延している)
P - リンク異常	回線断線、DSU障害、U点リバース等
P - 局・相手からの切断	正常(相手から切断された)
P - 正常切断中	正常(送信機から切断した)
P - 登録・契約異常	電話番号の設定異常または局契約内容が違う
P - 端末側局契約異常	端末側の局契約内容が違う
P - 相手側局契約異常	相手側の局契約内容が違う
P - 相手先機器異常	相手機器が異常または、相手側局異常
P - アクセス禁止	断線中(アクセス禁止)
P - 網障害	局に一時的障害が発生している
P - 接続不可	相手機器または局に障害が発生している
P - 着信課金契約異常	局契約に着信課金が設定されていない
P - ファストセレクト契約異常	局契約にファストセレクトが設定されていない、または契約が違う
P - パケット未登録	パケット確認不可

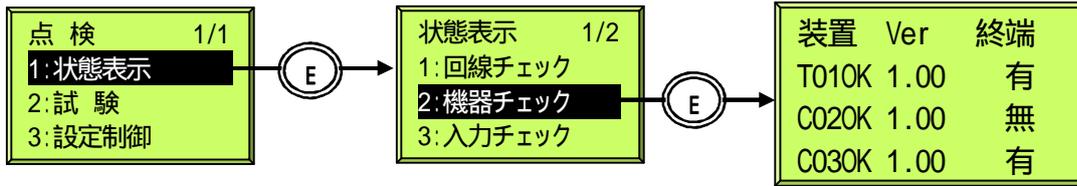
IP試験結果一覧

メッセージ	内容
通信完了	通信正常
通信異常	通信異常

初期画面表示中に、“9”ボタン長押しで最若番に設定されている音声以外の通報種別で試験発報を行うことが可能です。

6-1-3. 機器チェック

点検モードで機器チェック画面に入ります。送信機と接続している周辺機器の情報をモニタすることができます。



: 本体とTS-S C64の保守メニューから同時にチェックした場合、本体側表示はT01のみの表示となります。

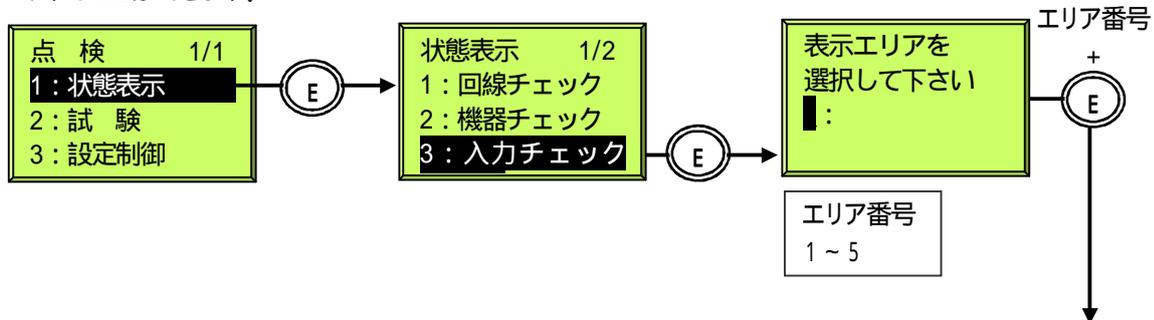
機器チェック一覧

項目	内容
装置	装置の型名を表示します。 T01:送信機 C02 :1台目のアクセスコントローラ
Ver	各機器のバージョン情報を表示します。
終端	低速LANの終端スイッチの設定を示します。

: 1台目のアクセスコントローラはC02からの扱いになります。

6-1-4. 入力チェック

点検モードで入力チェック画面に入ります。送信機(TS - MT0802)と接続している有線センサ、バスセンサの情報をモニタすることができます。



<table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>信号名称</th> <th>状態</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>会議室</td><td>復旧</td></tr> <tr><td>受付</td><td>復旧</td></tr> <tr><td>社長室</td><td>復旧</td></tr> </tbody> </table> <p>先頭頁表示中</p>	信号名称	状態	会議室	復旧	受付	復旧	社長室	復旧	<table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>信号名称</th> <th>状態</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>社長室</td><td>復旧</td></tr> <tr><td>会議室</td><td>復旧</td></tr> <tr><td>金庫室</td><td>復旧</td></tr> </tbody> </table> <p>中間頁表示中</p>	信号名称	状態	社長室	復旧	会議室	復旧	金庫室	復旧	<table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>信号名称</th> <th>状態</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>会議室</td><td>復旧</td></tr> <tr><td>金庫室</td><td>復旧</td></tr> <tr><td>情報システム</td><td>復旧</td></tr> </tbody> </table> <p>末頁表示中</p>	信号名称	状態	会議室	復旧	金庫室	復旧	情報システム	復旧
信号名称	状態																									
会議室	復旧																									
受付	復旧																									
社長室	復旧																									
信号名称	状態																									
社長室	復旧																									
会議室	復旧																									
金庫室	復旧																									
信号名称	状態																									
会議室	復旧																									
金庫室	復旧																									
情報システム	復旧																									

: 表示される状態は、ボタン押下時の状態です。リアルタイムでの状態更新はしません。最新の状態を確認する場合は、一度画面から抜け、再度入力チェックを実施する必要があります。

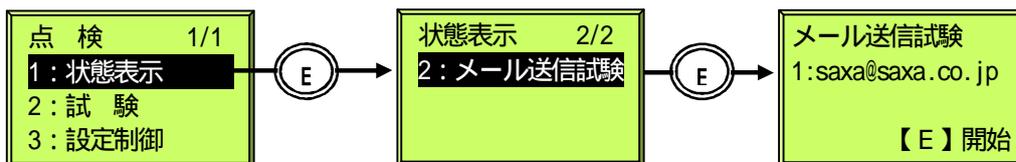
入力チェック一覧

項目	内容
信号名称	センサの信号名称を表示します。
状態	センサの状態を表示します。 発生:異常が発生中 / 復旧:異常が復旧した
頁表示	現在開いている画面の頁状態を表示します。 :先頭頁表示中 / :中間頁表示中 / :末頁表示中

6 - 1 - 5 . メール送信試験

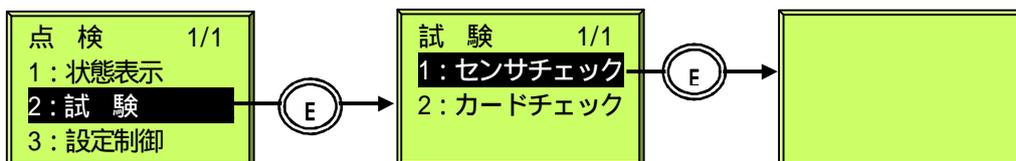
点検モードでメール送信試験画面に入ります。

メール送信先の番号(1～5)を入力し通報します。送信先へ正しく転送されたか確認してください。



6 - 1 - 6 . センサチェック

点検モードでセンサチェック画面に入ります。送信機(TS - MT0802)と接続しているバスセンサの情報をリアルタイムでモニタすることができます。



[画面の説明]

1ch目のバスセンサがON状態

3ch目のバスセンサがOFF状態

29ch目のバスセンサが未登録

5ch目のバスセンサが異常状態

<画面の見方>

● : センサON状態

○ : センサOFF状態

× : センサ異常

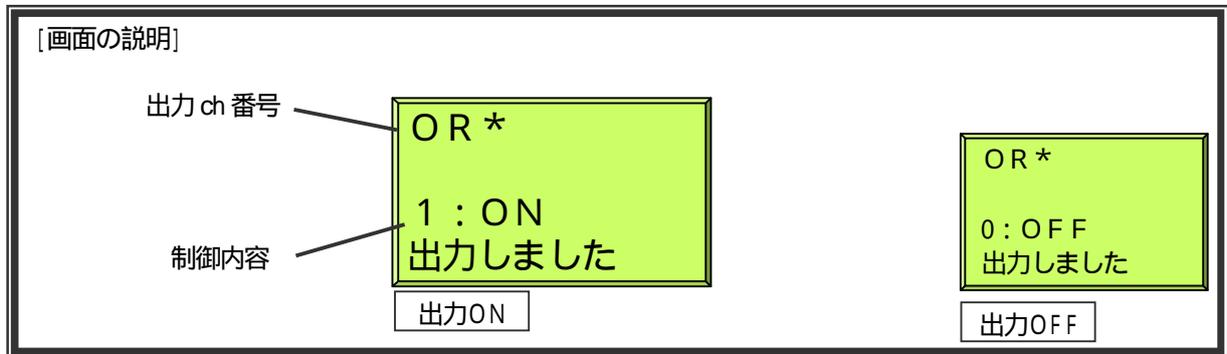
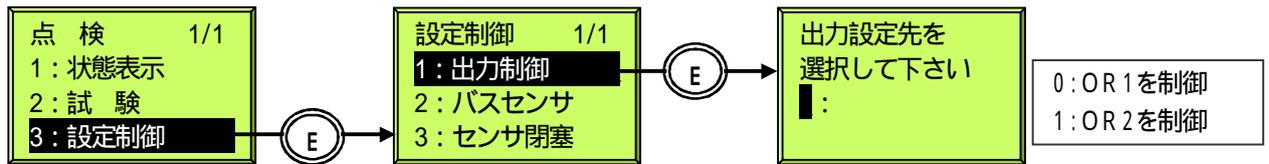
- : 未登録

:電源ONから1分経過後に状態変化を表示します。(バスセンサは電源ONから約1分後に動作します。)

初期画面表示中に、**・** キーを押下することによりバスラインセンサの状態を表示することができます。操作した時点でのセンサ状態を表示し、10秒間または他キーを押下されるまで表示します。

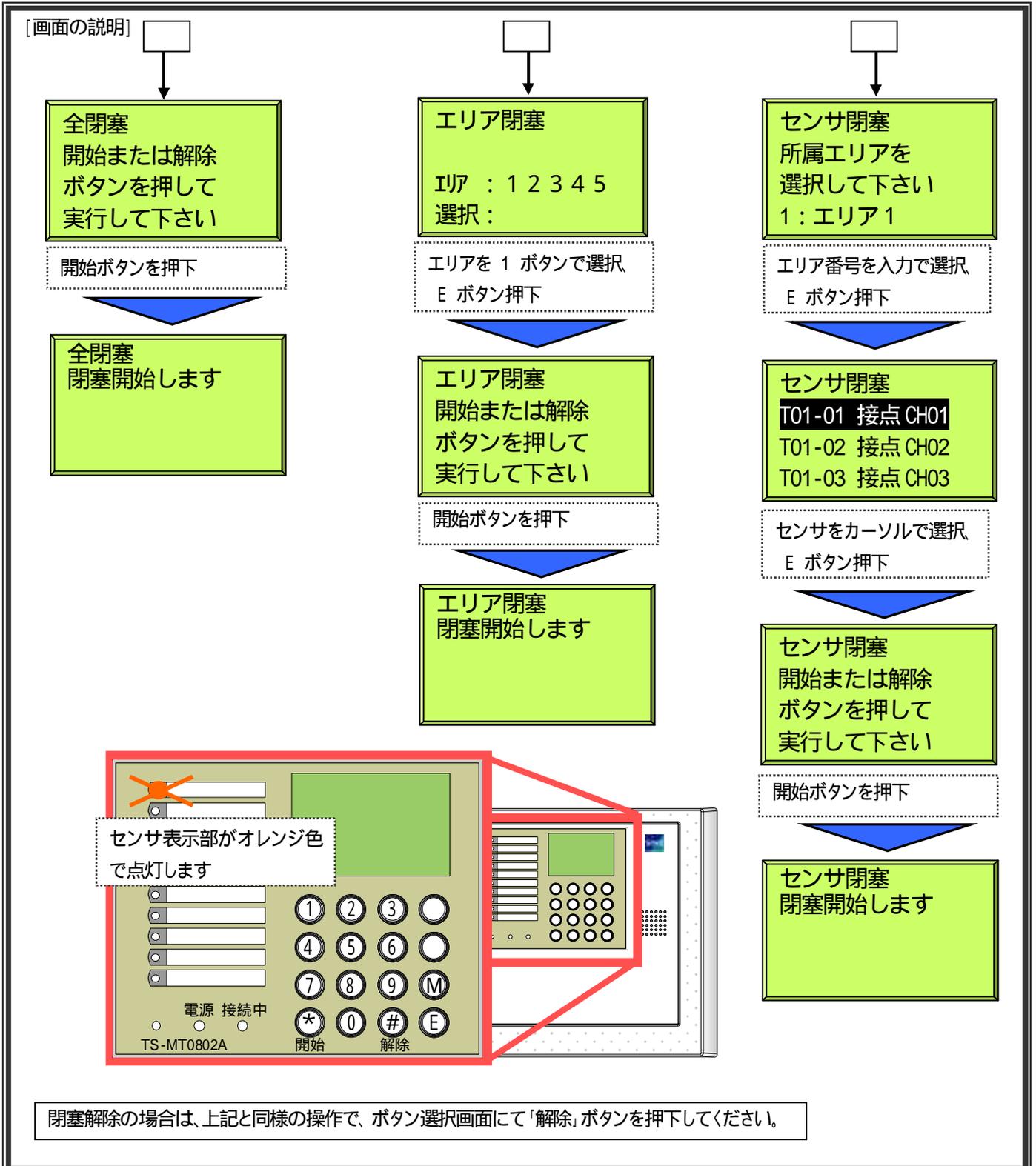
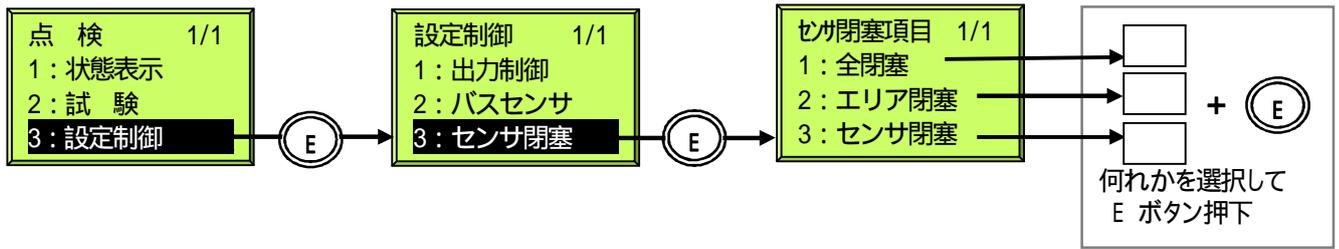
6 - 1 - 7 . 出力制御

点検モードで出力制御画面に入ります。送信機(TS - MT0802)の出力を制御することができます。



6-1-8. センサ閉塞

点検モードでセンサ閉塞制御画面に入ります。センサ閉塞の制御することができます。



6 - 2 . 登録操作

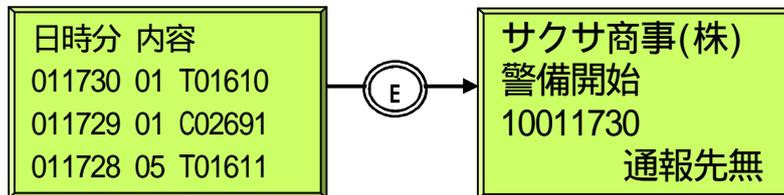
TS - MT0802A設定マニュアルを別途参照願います。

6 - 3 . 履歴操作

通報履歴を 100 件まで見ることができます。

通報履歴は、最大 500 件分蓄積していますが、本体LCDでは 100 件まで閲覧可能です。

センタ装置・登録器では全てのデータを読み込むことが可能です。



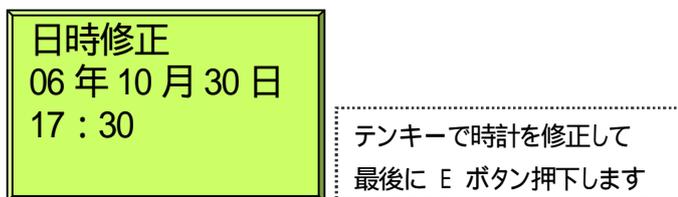
[画面の説明]

日時分	日時分 内容	(メール送信なしの場合)	略称(登録機にて登録)
エリア	011730 01 T01610	サクサ商事(株)	信号名称
信号コード	011729 01 C02691	警備開始	起動時刻(月日時分)
	011728 05 T01611	10011730	操作者名
		咲佐 通報先無	発報状況

(メール送信OKの場合)	(メール送信NGの場合)
サクサ商事(株)☑	サクサ商事(株)☑
警備開始	警備開始
10011730	10011730
通報先無	通報先無

6 - 4 . 日時設定操作

送信機の時計を変更することができます。



センタ通報時に時刻更新が可能です。(TS-MR1 受信機・VGR-1000 受信機)

時刻は、電源ON通報・定時通報・警備開始通報・警備解除通報時に自動更新します。

パケット接続の場合は、呼設定時に時刻更新を行い、以後 12 時間周期で時刻更新を行います。

6 - 5 . 入退室管理操作

入退室管理機能の試験的なFTP転送をすることができます。

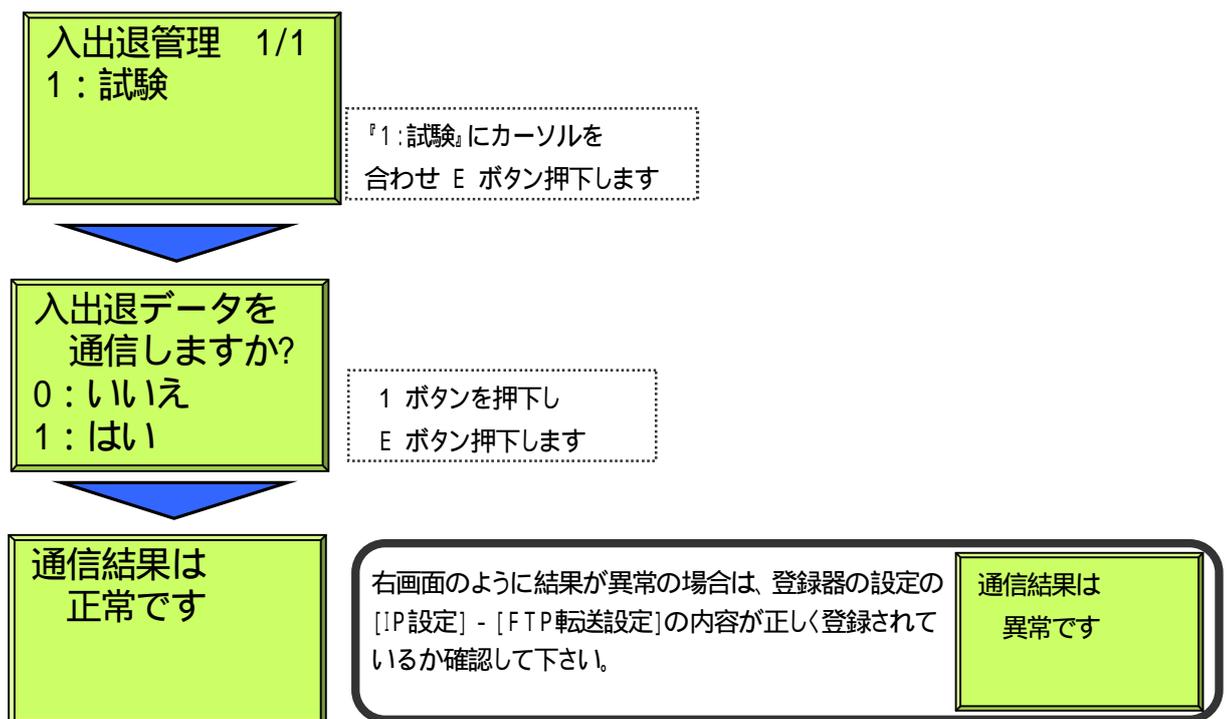
転送ファイルは固定で以下になります。

[端末アドレス6桁][月2桁(01~12)][日2桁(01~31)][時間2桁(00~23)][分2桁(00~59)].txt

例) 12345611221010.txt : 端末アドレス 123456
 月 11月
 日 22日
 時間 10時
 分 10分

試験通報は、時分が“TEST”に変わります。

例) 1234561122TEST.txt

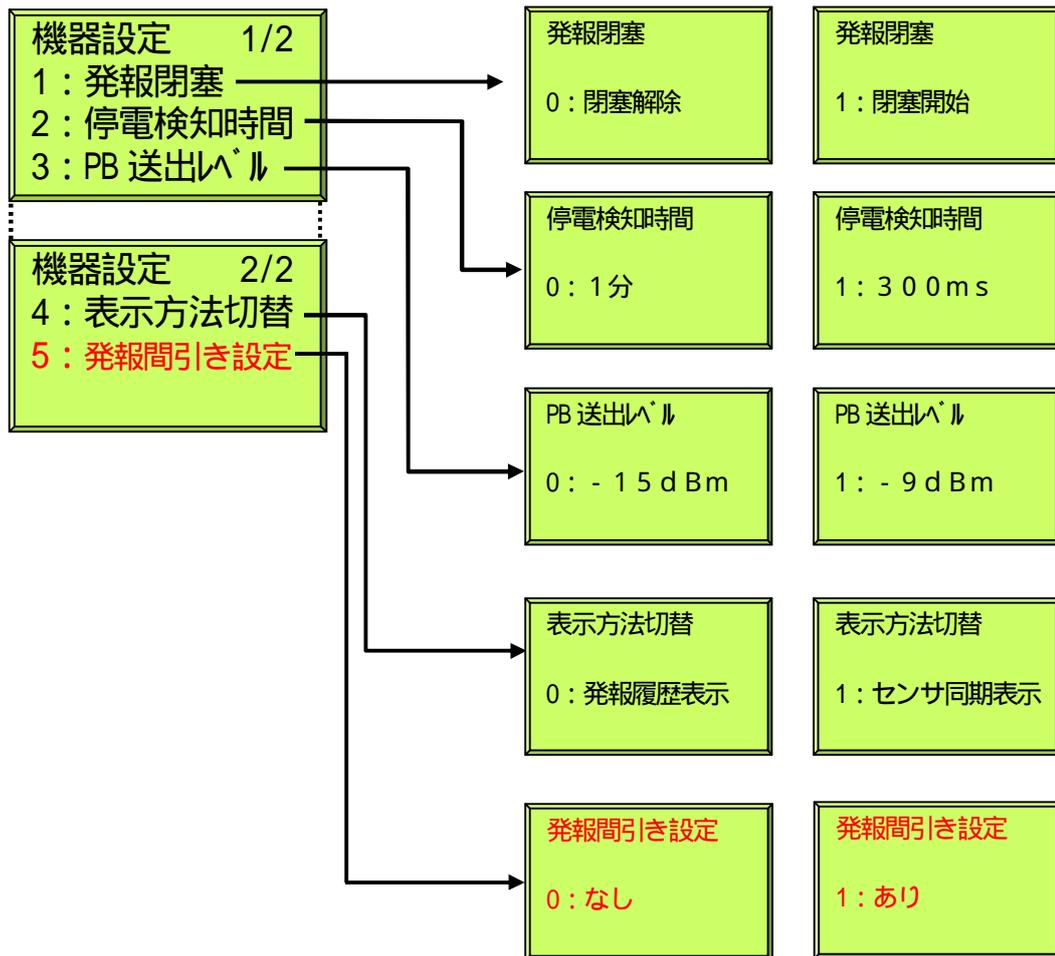


入退室管理情報は、設定された時刻に自動転送を行います。
 また、入退室情報が1000データ蓄積されて時点で自動転送を行います。

暗証番号のみで運用の場合は、操作者を特定できない為、入退室機能は使用できません。

6 - 6 . 機器設定操作

発報閉塞、停電検知時間、PB送出レベル、表示方法切替、発報間引き設定の設定を変更することができます。

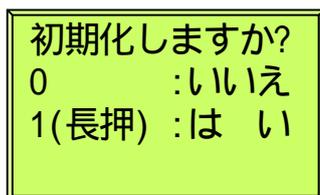


設定内容一覧

設定項目	内容
発報閉塞	通報を閉塞することができます。(パケット接続時は除く) 0:閉塞を解除する 1:閉塞を開始する
停電検知時間	停電の検知時間を設定します。(変更後再起動が必要です) 0:1分間連続で停電とみなす 1:300msで停電とみなす
PB送出レベル	PBの送出レベルを設定します。(変更後再起動が必要です) 0: -15dBm 1: -9dBm
表示方法切替	センサ表示部の表示方法を設定します。(変更後再起動が必要です) 0:発報履歴表示(センサ復旧後も点滅を保持します。0 ボタンで消灯させます。) 1:センサ同期表示(センサ復旧時は自動的に消灯します。)
発報間引き設定 (V2.02以降適用)	同一センサが連続動作した場合にセンサへの通報を間引く有無を設定します。 0:なし(同一センサが連続動作しても発報間引きを行いません。) 1:あり(同一センサが連続動作した場合、発報間引きを行います。) 本設定につきましては、パソコンを使用し Telnet でログイン(ユーザー、パスワードなし)を行い“THINOUT”コマンドであり/なしを変更できます。

6 - 7 . 初期化操作

設定内容を出荷時に戻すことができます。



“初期化実行中”の表示になり、自動でリセットされます。

- ・初期化を行う際は、必ずAC100V通電中に行ってください。停電中に行いますとメモリを壊してしまい、再起動しなくなる可能性があります。
- ・IPアドレスが初期化されますので、同一LAN上に同じアドレスの機器がないことを確認してください。同一アドレス機器が存在すると正常に動作しなくなります。
- ・警備状態は解除、発報履歴・入退出管理情報も初期化されます。
- ・ボリューム・コントラスト・バックライト・ボタン確認音は標準的なレベル()になります。
- ・初期化後の保守用暗証番号は、“00000001”になります。

()標準レベル	
ボリューム	レベル4
コントラスト	レベル4
バックライト	30sec
ボタン確認音	ON

6 - 8 . IP/MACアドレス

設定内容を表示します。

LANが接続されていない場合、IPアドレスは“000.000.000.000”を表示します。



7. 制約事項

警備会社への通報の遅れについて

- ・お客様の警備解除忘れなどにより侵入検知の情報が多数発生した場合には、警備解除操作をしていただいた後も侵入検知の情報を全て送信してから警備解除の情報を送信するため、管制センターが警備解除を認識するまでに時間がかかる場合があります。機器設定操作の発報間引き設定を“あり”に設定すると、同一センサの発報を間引きくことができます。

NTTの回線試験について

- ・NTTの回線試験を実施した場合は、回線断を検出する場合があります。

サクサ株式会社

(サクサグループ)

〒108-8050 東京都港区白金1-17-3
NBFプラチナタワー

サクサホームページ

<http://www.saxa.co.jp/>

■営業窓口

ソリューション営業本部第一営業部

中部支社
関西支社
九州支社
東北支社

(03)5791-5526
(052)220-3930
(06)6367-0393
(092)473-1511
(022)297-5835

静岡営業所
金沢営業所
高松営業所
広島営業所
札幌営業所

(054)653-7711
(076)255-0393
(087)861-7450
(082)511-7555
(011)281-1035

商品に関するお問い合わせや障害時の受付は下記窓口にお問い合わせください。
お客様相談室 0570-003933